

る。さらに授業の時間だけでなく、一緒に遊んだり、給食を食べたりと学校教育活動全体を通して、日常的に英語に触れる環境づくりができています。

### 白鷹学講座

横山委員

白鷹学講座  
開催支援事業補助金の実績は。

教育次長

件数は2件。児童作家の講演会、瑞龍院と町の歴史文化に関する講演会(写真)に交付した。

横山委員

補助金を活用してさま



さまざまな取り組みが広がってほしいが、ピーアールなどに工夫はあるか。

教育次長

自分たちで講演会などを企画したいという声もあり、昨年度から補助金方式に変えた。

町報、町ホームページなどを通じて周知し、ピーアールを図ったが、新型コロナウイルス感染症拡大により実施を控えていると思う。

## 予備費

予備費の使いみち

小口委員

決算額において予備費

から約1億円が使われているが、その内容は何か。

総務課長補佐

感染症対策に約3

900万円、経済対策に約6100万円、豪

雨災害対応に約200万円を使わせていただいた。それぞれ迅速かつ適切な対応ができた認識している。

## 特別会計

### 国民健康保険特別会計

国民健康保険運営基金について

奥山委員

基金を取り崩して運営

しているようだが、状況と課題は。



町民課長

令和元年度から高い標準

準税率が示されたが、白鷹町では国民健康保険税率を上げることなく、不足分は基金からの充当によって運営することができた。昨年度は最終的には3000万円を基金に積み立てしたが、令和3年度からは税率引き上げの改正をさせていただいた。

奥山委員

安定的に運営するため

基金のあり方をどのように考えているか。

町民課長

ある程度の積み立ては

必要かと思うが、一気に税率を上げて基金を積み増しするということは困難であるので、必要とされる納付金額

を賄えるような税率を検討していくことが大事かと思う。

### 介護保険特別会計

介護給付費減少の要因は何か

竹田委員

居宅介護サービス給

付費と介護予防サービス給付費が昨年度よりも減少している。要因は何か。

健康福祉課長

要介護・要支援認

定者数は885人で前年度より18人の減。さらに、介護サービスを利用される方の平均は443人と約40人の減であり、平均寿命の延びや医療の進歩によって、当町に限らず減少傾向がみられる。また介護予防教室の実施も効果があるのではない

竹田委員

利用者数の減少はサー

ビス提供事業者にも影響が出る。まもなく団塊の世代の方々が後期高齢者となるが、今後の見通しはどうか。

健康福祉課長

今後65歳以上の高

齢者数は減少に転じていくが、75歳以上の後期高齢者数は令和7年度から増加すると見込んでいる。さらに令和12年頃からは85歳以上の人口増加が見込まれ、一定程度の介護基盤は必要である。事業者の方々と情報交換しながら考えていくべきと思う。

